

令和5年度 学校経営計画書

学校番号	27	学校名	静岡県立富士宮東高等学校（定時制）	校長名	松下 明子
------	----	-----	-------------------	-----	-------

1 スクール・ミッション

富士宮地区の歴史ある定時制普通科高校として、校訓「健やかなからだ 豊かな心 たゆまぬ努力」のもと勤労と学業の両立を目指す生徒を支援する、あたたかみある教育の実践を通して、心身共に健康で自他を尊重する態度を有し、地域社会に貢献できる人材の育成を目指す。

2 目指す学校像

(1) スクール・ポリシー

グラデュエーション・ポリシー ～このような人を育てます～	カリキュラム・ポリシー ～このような学びを行います～	アドミッション・ポリシー ～このような人を求めます～
① 規則をしっかりと守り、地域社会の担い手として自立した成人。	① 総合的な探究の時間や特別活動でのスキルアップ学習により、健全で自律した生活を送るために自己を管理する能力の向上を図る。	① 社会や学校のルールの意味を考え、しっかりと守ろうとする生徒。
② 他者を尊重し、他者と良好なコミュニケーションを図ることができる人。	② 校外のさまざまな組織と協力しながら教育相談の体制を充実させ、生徒に寄りそう支援を行うことで、自己肯定感を育むとともに多様性を受容する態度の養成を図る。	② 相手の気持ちを大切にし、まわりの人と好ましいコミュニケーションをとろうとする生徒。
③ 自らのキャリア形成をよく考え、好ましい職業観を持ち、主体的に行動できる人。	③ キャリア形成に向けた一貫性のある進路指導を通じて、生徒の多様な進路実現を図る。	③ はたらく学生として社会人のマナーを身につけながら、学業にねばり強く取り組み、夢に向けて努力を続けられる生徒。

(2) スクール・ポリシー具現化の柱

- ア 健康で安全で規律ある生活を送ることを目指し、自己管理能力の向上と、場に応じた言動を選択できる判断力の育成を図る。(①)
- イ 生徒に寄り添う支援を行うことで、自己肯定感を育むとともに多様性を受容する態度を養成し、コミュニケーション能力を伸長する。(②)
- ウ 勤労と学業の両立を目指し、基本的な生活習慣と勤労意識の育成、基礎学力の定着を図る。(①・③)
- エ 多様な生徒の進路実現を目指して、組織的、計画的な進路指導の充実を図る。(③)
- オ 魅力ある学校を目指し、業務の効率化、適正化を図り、外部人材の活用等地域と連携した学校づくりを推進する。

3 本年度の取組（重点目標はゴシック体で記載）

	取組目標	達成方法（取組手段）	成果目標	担当部署
ア	健康で安全で規律ある生活を送ることを目指し、自己管理能力の向上と、場に応じた言動を選択できる判断力の育成を図る。	「授業出席カード」や「共有ファイル」で、授業の遅刻・早退・欠課の状況を全体で把握する。 遅刻の多い生徒には、定められたルールに則って指導し、時間を守る意識を高める。	出席率90%以上 遅刻率3%未満	教務
		交通安全教室、保健講座、薬学講座、防災講座、防災訓練等を実施し、安全意識を高める。	安全意識向上のための行事実施年5回以上 「安全意識が高まった」生徒75%以上	総務 生徒 保健
		「保健だより」や「健康観察カード」により生徒自身の健康への意識を高める。	保健だより発行年10回以上	保健
		登校指導等により、感染症対策への意識づけを徹底する。	登校指導 150日以上	
		食育を重視したバランスの良い食生活を意識させるため、主に1年生を対象に給食指導を行う。	「毎日給食を食べている」と答えた1年生徒60%以上	
		家庭と連絡を密にし、治療勧告を受けた生徒の受診指導を行う。	治療勧告を受けた生徒の受診率40%以上	教務 生徒
		「宮東スタンダード」で、毎月の自己行動等を振り返らせ、自己分析の機会をつくる。 問題行動へ迅速で組織的な対応をし、安心安全な環境づくりに努める。	「学校や社会のルールをしっかりと守っている」と答えた生徒95%以上	
イ	生徒に寄り添う支援を行うことで、自己肯定感を育むとともに多様性を受容する態度を養成し、コミュニケーション能力を伸長する。	生徒の観察や生徒への声掛け等を通じて、生徒の変化等を把握し、いじめの未然防止と早期発見、早期対応に努める。 毎学期の面談を行い、生徒情報を共有する。 三者面談等を行い、家庭との共通理解を得る。 SCやSSW等の外部人材や外部機関を有効に活用する。	「信頼できる教師がいる」と答えた生徒90%以上 面談実施年6回以上 SCやSSWを活用した情報交換の場の設定年10回以上	教務 生徒 保健 教育相談
		より多くの生徒が積極的に取り組むことができるよう学校行事を工夫する。	学校行事の満足度80%以上	生徒
		ソーシャルスキルトレーニング講座等を実施し、HR活動を中心とした学校生活を充実させ、社会性を高める。	望ましい人間関係を築くための行事実施年3回以上	教育相談 特別支援
ウ	勤労と学業の両立を目指し、基本的な生活習慣と勤労意識の育成、基礎学力の定着を図る。	授業プリントを工夫し、ICTを活用することで、わかる授業・参加したくなる授業を目指す。 小テスト等を実施し基礎・基本の定着をはかる。	「授業の内容を理解できている」と答えた生徒90%以上	教務 研修
		生徒が主体的・対話的に学習に取り組む手法を取り入れるなどして、授業力の向上に努める。 新学習指導要領に対応した観点別学習評価の実施を進めるとともに、「総合的な探究の時間」の検討などを行う。	スキルアップテストを年6回（6種類）実施 授業改善・生徒理解に関する研修会の実施年3回以上	
		生徒による「授業アンケート」や「高校生のための学びの基礎診断」の活用、及び先進の授業見学を通じて、授業内容や指導方法の見直しを図る。	授業アンケートを年3回実施	

		外部講師を招いた講演・講話を設定し、また地元企業との連携を強め、就業意識を高める。	就業率（アルバイトを含む）80%以上	生徒 進路
エ	多様な生徒の進路実現を目指して、組織的、計画的な進路指導の充実を図る。	ハローワークとの連携、キャリア講座の実施、検証を通して「キャリア教育計画」を整備する。「進路の手引き」を活用し、生徒の実態に合わせた系統的な進路活動を実践する。就職希望者への早期の面接練習、進学希望者に対する個別指導など、個に対する指導を充実させる。進路資料を充実させ、生徒の主体的な活動に対応する環境を整える。	卒業年度進路決定した生徒 100%	進路
			「キャリア教育計画」の整備や「進路の手引き」の活用を目的とした会議 実施年 3回	
オ	魅力ある学校を目指し、業務の効率化、適正化を図り、外部人材の活用等地域と連携した学校づくりを推進する。	学校見学会や学校説明会、中学校訪問を実施し、定時制教育への正しい理解を広める。	説明会等の実施 年 5回以上	教頭
		ホームページや学校紹介動画を充実させるなどして学校生活の広報活動を行う。	学校行事のホームページ更新 年 25回以上	情報
		各分掌で業務改善を推進し、行事の充実や業務の適正化を図る。	分掌での業務見直し 各学期 1回 年 3回以上	全分掌
		地域の人材を活用した学校行事を実施し、地域との連携強化に努める。	地域人材を活用した講演会等実施 年 10回以上	生徒 進路